

令和4年度 こどもの居場所づくりに関するヒアリング調査

こどもの居場所づくり施策・事業と 実践から得たまなびについて

豊中市 こども未来部 こども政策課
NPO法人 とよなかESDネットワーク

本日のながれ

- 1 豊中市の概要
- 2 子どもの居場所づくり施策
- 3 子どもの居場所ネットワーク事業
- 4 実践から得たまなび

1 豊中市の概要

人口 39万9,836 人	子どもの数 (0~17才) 6万6,246 人	年齢階層別 <table border="1"> <tr><td>0-2</td><td>9,935</td></tr> <tr><td>3-5</td><td>10,889</td></tr> <tr><td>6-8</td><td>11,498</td></tr> <tr><td>9-11</td><td>11,637</td></tr> <tr><td>12-14</td><td>11,333</td></tr> <tr><td>15-17</td><td>10,954</td></tr> </table>	0-2	9,935	3-5	10,889	6-8	11,498	9-11	11,637	12-14	11,333	15-17	10,954
0-2	9,935													
3-5	10,889													
6-8	11,498													
9-11	11,637													
12-14	11,333													
15-17	10,954													
世帯数 17万8,647 世帯	子どもの割合 (0~17才) 6.04 %													

1 関連データ及び地域の特徴

- 交通の利便性が高く、自然豊かなエリアも有する**住宅都市（中核市）**
- **北部**は、千里ニュータウンや閑静な住宅地が広がり、**転入者が多い**エリア
- 大阪市に隣接する**南部**は、**下町の雰囲気**があり、昔から住む人が多いエリア
- 教育や福祉、防犯などの分野で、**市民による様々な活動を展開**



1 豊中市の概要

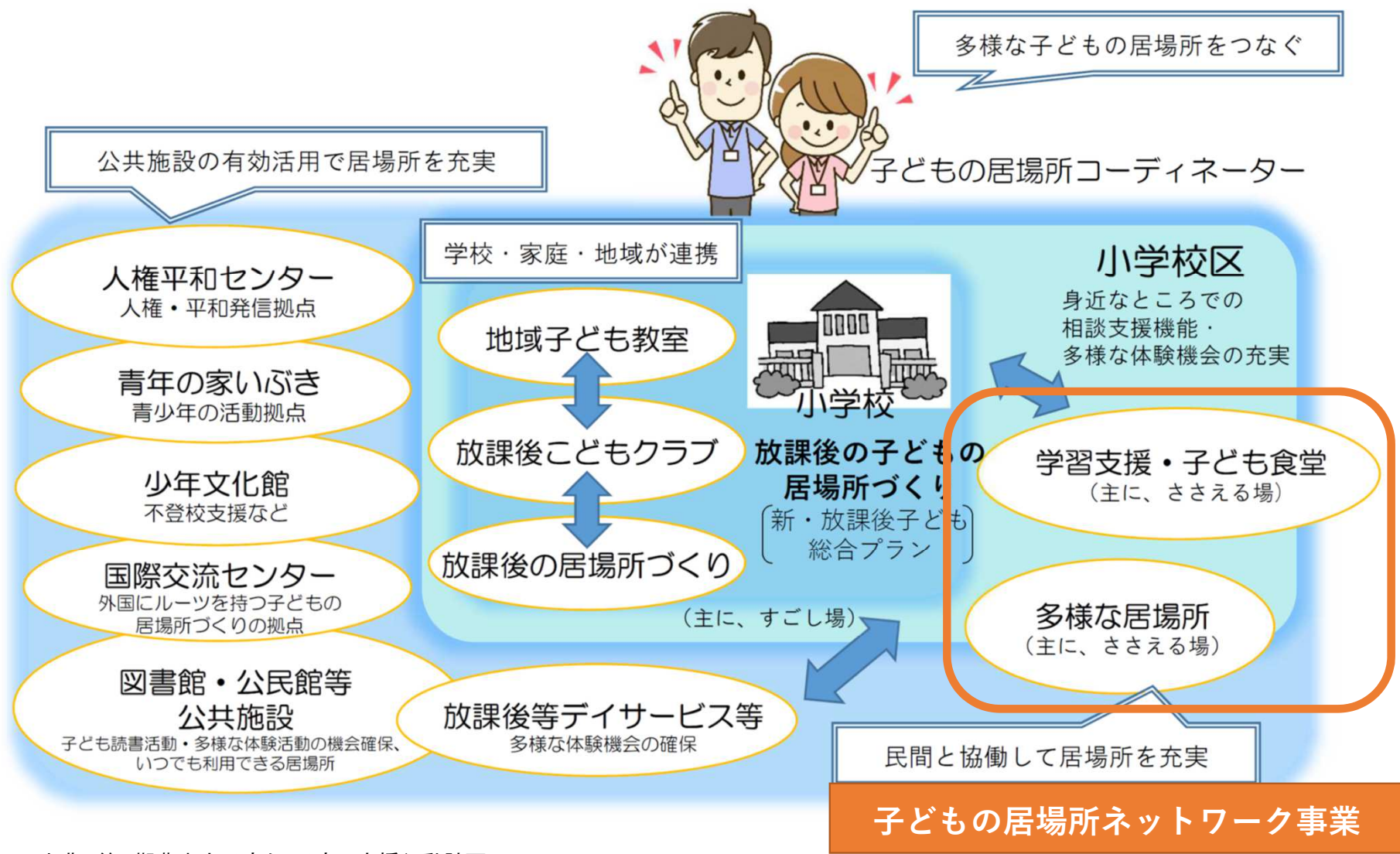


2 地域の様子



2 子どもの居場所づくり施策

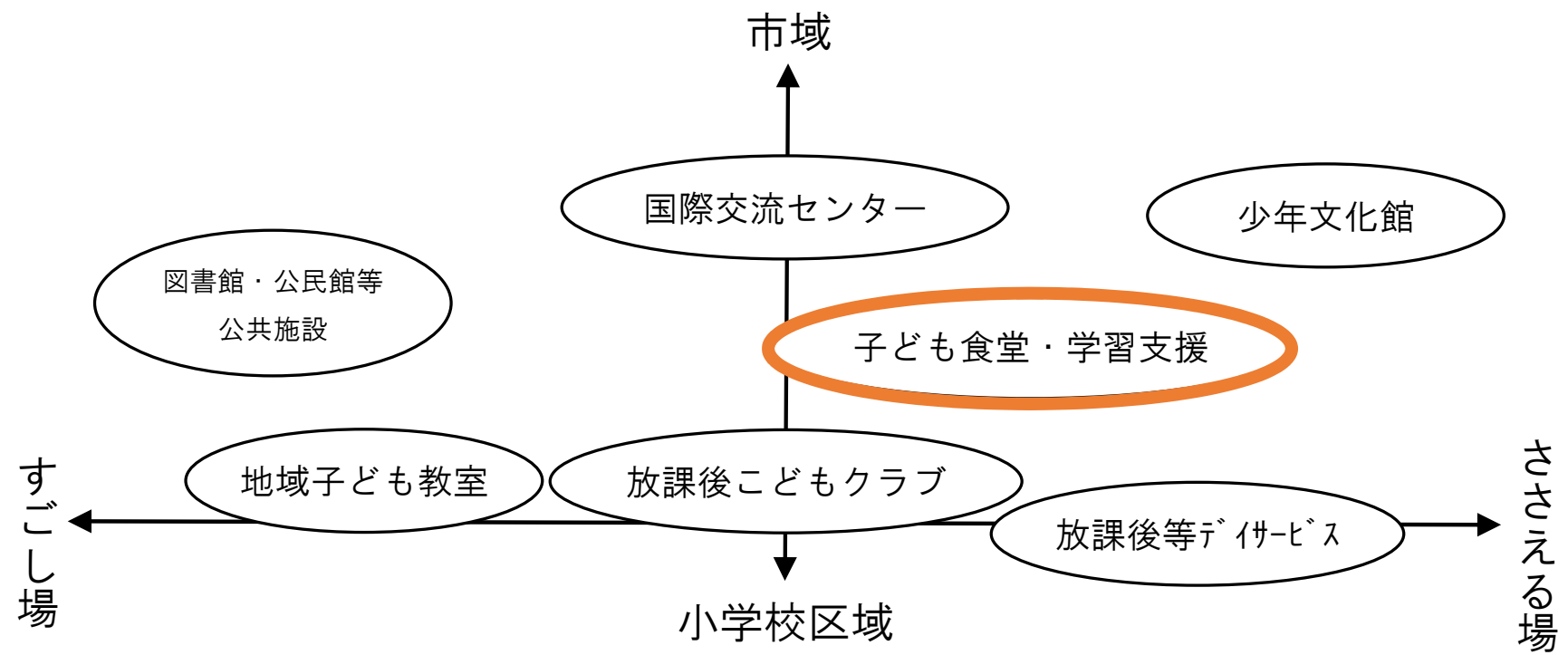
1 自治体が推進する様々な居場所づくり



出典：第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画

2 子どもの居場所づくり施策 ▶▶▶ 2 子どもの居場所の整理

※ イメージ図（一部の居場所を抜粋）



基本的に希望者はいつでも誰でも参加でき、 時間的な制限が少ない	対象となる子どもを想定し、 子ども自身の困難に寄り添い、 時には子どもの状況に積極的に関わり支援
------------------------------------	--

* 両者に明確な境界線はなく、各形態の中にも濃淡あり

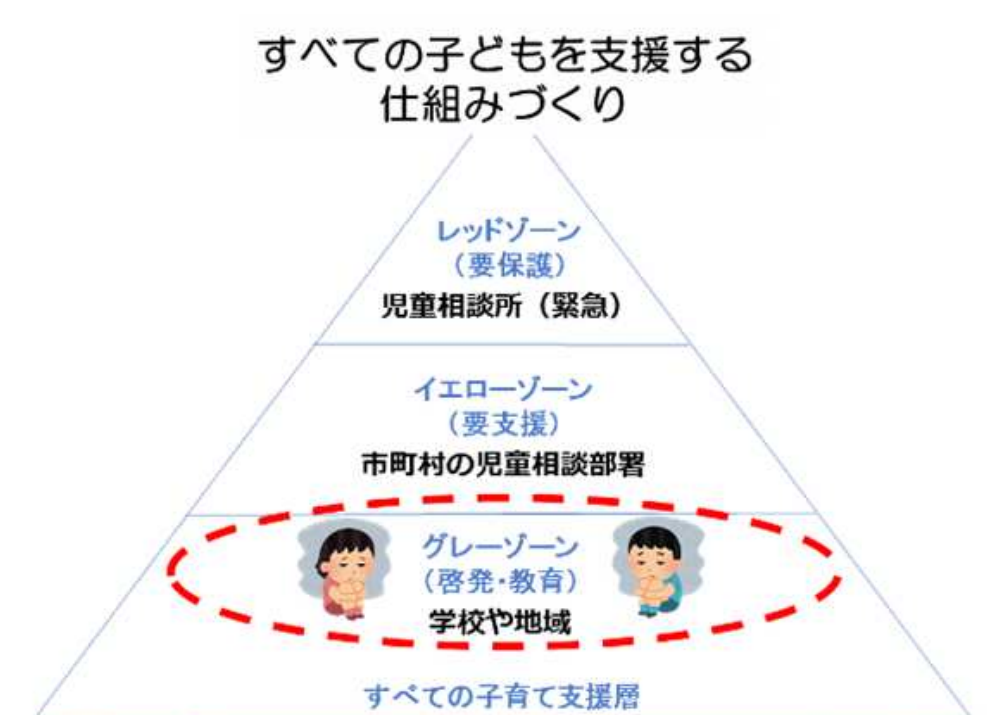
2 子どもの居場所づくり施策

3 施策推進の目的

学校教育活動以外での
体験・交流機会の減少

困窮家庭の子どもほど
大人と過ごす割合低い

居場所がない子どもは
相談相手が少ない



グレーゾーンに隠れている「実態が見えにくく、捉えづらい」
困難を抱える子どもを発見し、必要な支援につなぐことが重要

- H30 子どもの居場所づくりに関する地域資源調査・研究
- R元 子どもの居場所ネットワーク事業 試行、ロードマップ策定
(第2期子育て・子育て支援行動計画(重点施策) 策定)
- R2 子どもの居場所ネットワーク事業 本格実施、ポータルサイト開設
子ども食堂フードデリバリー事業補助金
- R3 子どもの居場所づくり推進事業補助金 開始
- R4 子どもの居場所・相談支援拠点モデル事業 開始

3 子どもの居場所ネットワーク事業

1 事業の主な取組み

子どもの居場所に関する ポータルサイトの運営

オールとよなかで
子どもを育て、見守る

「いこっと」は、とよなか全体で子どもを育てることをビジョン

居場所の立ち上げ支援・ 運営支援

多様なノウハウやスキルを もつサポーターの派遣

市域や圏域ごとの 会議・交流会の開催

居場所支援ボランティア 連続講座の開催

物資・資金の寄付や 場所の提供などの調整

3 子どもの居場所ネットワーク事業

2 地域の多様な子どもの居場所①

- ※ 市が把握しているところで60以上
- ※ コロナ禍で活動休止、中止のところも
- ※ 子どもの居場所づくりポータルサイトには、
34団体を掲載 (R4年7月末時点)

豊中市子どもの居場所ネットワーク事業

子どもの居場所づくり
ポータルサイト



いこっと

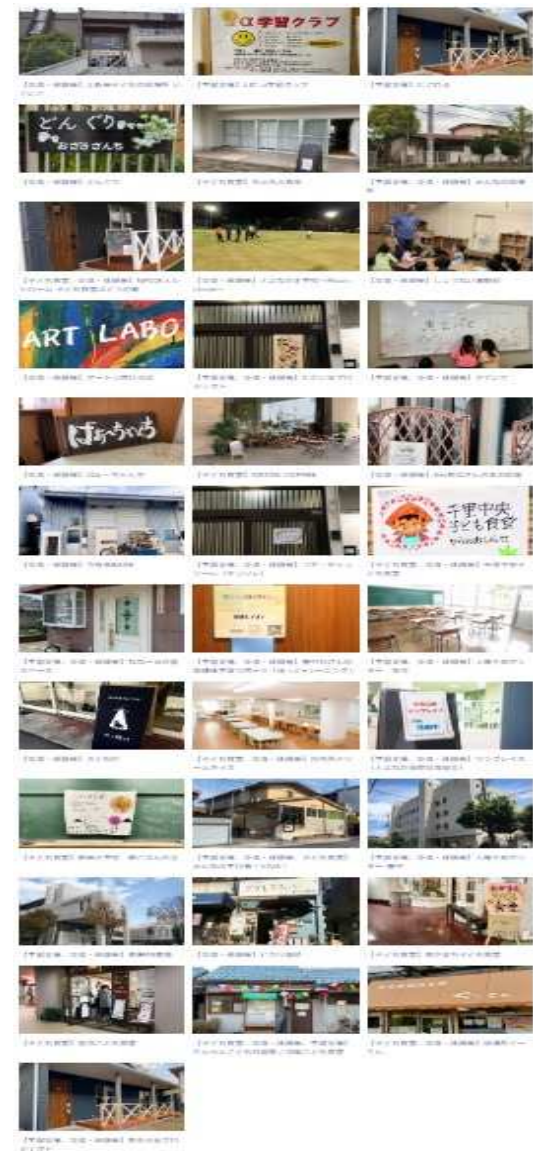
子ども食堂や無料・低額の学習支援などの
市内の子どもの居場所の情報を掲載



Web



Facebook



- ＊ 任意団体（居場所団体、学生団体、フリースクール）
- ＊ N P O 法人（教育関係、若者支援関係、介護関係）
- ＊ お店（飲食店、喫茶店、本屋・ギャラリー）
- ＊ 一般社団法人、公益財団法人（人権関係、医療関係、国際交流関係）
- ＊ 社会福祉法人（介護関係）
- ＊ 株式会社（介護関係、工場）
- ＊ 個人（子ども文庫、元教員等）
- ＊ 地域福祉活動（校区社会福祉協議会）



事業全体及び市域の業務を進める「市域コーディネーター」
おおむね日常生活圏域を担当する「圏域コーディネーター」がいます。
「圏域コーディネーター」は、段階的に配置していきます。

目標	自治体	コーディネーター	居場所
全校区への展開	<ul style="list-style-type: none"> * 居場所NW事業の<u>予算確保</u> * 施策、事業の周知 * 他分野・公共施設との調整 * ロードマップ等の進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> * <u>居場所の立ち上げ・運営支援</u> * <u>連続講座の企画・運営</u> * <u>コーディネーターの発掘</u> * <u>居場所の活動状況の把握</u> 	<ul style="list-style-type: none"> * 居場所の立ち上げ・周知 * 見学等の受入れ・助言
支援の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> * <u>学校・関係機関との調整</u> * <u>地域NWとの調整</u> * 会議・交流会への庁内調整 * 公民協働型支援の制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> * <u>市域・圏域会議の企画・運営</u> * 居場所間の連携調整 * 関係機関とのつなぎ 	<ul style="list-style-type: none"> * <u>つながりづくり</u> * <u>居場所の提供</u> * <u>相談・支援等への対応</u>
諸資源の確保	<ul style="list-style-type: none"> * 運営補助の予算確保 	<ul style="list-style-type: none"> * <u>ポータルサイトの運営</u> * サポーターの調整・派遣 * 資源・寄付の情報収集と調整 * 運営補助の周知・説明 	<ul style="list-style-type: none"> * 居場所間での共有 * 地域資源の情報提供

出典：豊中市子どもの居場所づくりロードマップをもとに作成

- ※ 居場所の**持続性**（資源確保、支援者のモチベーション維持）
- ※ 多様な価値観・目的を持つ**居場所同士のネットワークづくり**（共通言語）
- ※ 居場所づくりが**進みやすい地域とそうでない地域**（環境、地域ネットワーク）
- ※ コーディネーターの発掘（経験、居場所・地域との関係）
- ※ 課題が大きい子どものケース対応における**支援の連携**（個人情報共有）

※ 多様な主体による居場所を支援する必要性

多様な子ども ⇒ 多様な居場所 ⇒ 多様な主体 ⇒ 立上げ・運営支援（中間支援）

※ 子どもの居場所づくり施策を「公民協働」のプラットフォームに

- 居場所(民間)と行政 それぞれの「強み」「役割分担」を認識
- 子どもの状況・課題・切迫感の共有

※ 公民連携型支援の仕組みづくり（子どもの居場所・相談支援拠点モデル事業）